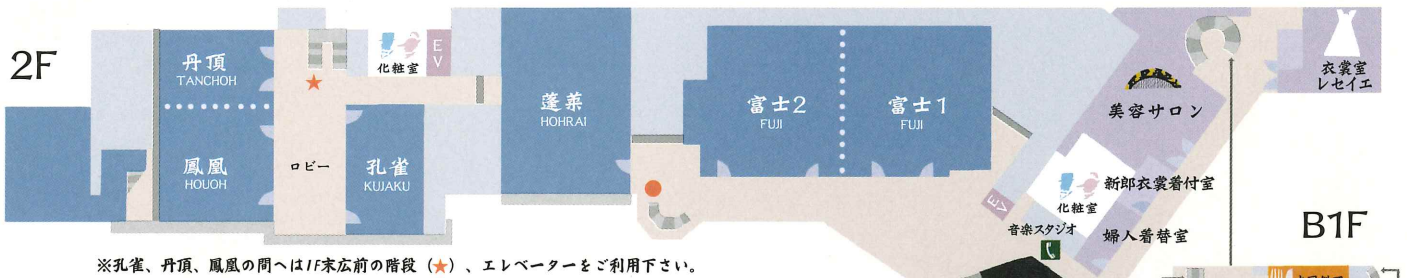


# 明治記念館 案内図



※孔雀、丹頂、鳳凰の間へは1F末広前の階段(★)、エレベーターをご利用下さい。

**館内案内図 アイコンの説明**

	通路		扉		案内
	E.V		喫茶		撮影ポイント
	階段		レストラン		喫煙場所



本館(憲法記念館)の撮影はこのあたりがベストポイント。建物の手前には、樹齢150年以上の松があります。

**【庭園とさざれ石】**  
常緑の芝が美しい庭園では様々な花や樹木が季節を彩ります。また、庭園奥には、君が代でも歌われている「さざれ石」があり、凝結したその姿から目出度い石として珍重されています。

**【明治記念館本館と金鶏の間】**  
憲法記念館とも呼ばれるこの建物は、明治14年に赤坂仮皇居の別殿として建てられました。壁面に金鶏が舞う金鶏の間は、明治憲法草案審議の御前会議が行われた由緒ある部屋で、現在は各種パーティやラウンジとして使用されています。憲法草案の起草に功績のあった伊藤博文公への下賜を経て、建物は明治神宮に奉獻され、現在の地へ。その後、明治記念館の名で結婚式場として開館したのは昭和22年のことでした。

**【儀式殿の御座(みとびら)】**  
儀式殿の入口には重厚な御座。その先は、御神域となり稲田石の通路が続いています。荘厳な雰囲気思わず背筋が伸びます。

本館の車寄せ前で写真を撮影するときは、菊の花の形をしたシャッターレリアをお見逃しなく。

**【本館玄関車寄せ】**  
明治14年に建築された当時、この車寄せに入ってくる車は馬車でした。建築から120年以上経た今も、明治記念館を象徴する建物として、宮殿造りの雰囲気を残しています。

**【憲法記念館の碑】**  
正門から続く歩道の脇には、憲法記念館の碑があります。明治記念館の本館金鶏の間は、明治天皇ご臨席のもと、明治憲法の草案が審議された場所です。

**【正門】**  
明治記念館正門の門柱を見ると、左右別々の銘が刻まれていることが分かります。これは明治記念館本館が憲法記念館であった頃の名残を示すものです。

